



平成25年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月5日

上場会社名 川口化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4361 URL <http://www.kawachem.co.jp>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 山田吉隆
 問合せ先責任者(役職名) 取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 荻野幹雄 (TEL) 048-222-5171
 四半期報告書提出予定日 平成25年4月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第1四半期の連結業績(平成24年12月1日～平成25年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第1四半期	1,411	△11.3	△3	—	△9	—	3	△59.6
24年11月期第1四半期	1,591	△8.5	32	27.5	30	32.6	8	△68.4

(注) 包括利益 25年11月期第1四半期 13百万円(3.5%) 24年11月期第1四半期 13百万円(△61.2%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年11月期第1四半期	0	29	—	—
24年11月期第1四半期	0	72	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第1四半期	6,059	—	1,518	—	—	25.1
24年11月期	6,264	—	1,541	—	—	24.6

(参考) 自己資本 25年11月期第1四半期 1,518百万円 24年11月期 1,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年11月期	円	円	円	円	円
25年11月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年11月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年11月期の連結業績予想(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	3,000	△11.1	20	△72.8	15	△77.7	10	△81.3	0	82
通期	6,400	△6.3	120	△16.3	100	△25.0	60	△27.1	4	92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年11月期1Q	12,200,000株	24年11月期	12,200,000株
② 期末自己株式数	25年11月期1Q	16,960株	24年11月期	16,412株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年11月期1Q	12,183,040株	24年11月期1Q	12,184,100株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、米国経済は個人消費が増加するとともに雇用情勢も回復基調となり、中国をはじめとするアジア市場は一時の減速から改善の傾向がみられるものの、欧州の経済は回復せず債務問題は長期化していることから、今なお先行き不透明な状況で推移しています。

日本国内においては、昨秋以降の中国国内での日系自動車メーカーの減産影響により、中国やアジアを中心とした輸出は減速したものの、当第1四半期に入り為替が円安に転じ輸出や国内生産が底打ちしたことから、今後は復調することが期待されます。

当社グループの関係する自動車業界では、当第1四半期における国内自動車生産販売台数が減少した結果、自動車タイヤ・工業用品生産においても前年同期比で減少しました。

販売面では、為替が円安に転じたことから輸出について販売を拡大したものの、国内自動車生産の減産により全体では前年同期を下回る水準で推移しました。

原材料面では、ベンゼンやナフサ価格が上昇に転じたこととあわせ、円安の進行により原材料価格が上昇傾向であることから、当社を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

このような状況の下、当社グループにおきましては、急速に変化する市場・生産環境の変化に対応できるよう原材料調達先の確保や市場競争力を高めるための原材料のコストダウンを行い、生産体制や在庫の適正化をはじめとする生産合理化検討を進めました。販売においては、為替環境の変化や顧客動向に積極的に対応し、主力のゴム薬品、機能性化学品に注力した販売活動を行うとともに、新製品戦略の展開を行いました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は14億11百万円（前年同期比11.3%減）、営業損失は3百万円（前年同期は32百万円の営業利益）、経常損失は9百万円（前年同期は30百万円の経常利益）、四半期純利益は3百万円（前年同期比59.6%減）となりました。

(部門別の概況)

<ゴム薬品>

国内の自動車生産は、昨秋以降エコカー補助金の終了や中国での日系自動車メーカーの減産影響により、当第1四半期に入っても前年同四半期比で生産台数の減少状況が継続しました。この影響により、当社の主要顧客であるタイヤ・ゴム工業用品・合成ゴム生産が減少したことから、国内ゴム薬品の売上は前年同四半期比で減少しました。

輸出におきましては、東南アジアをはじめ中国において回復傾向がみられることや、主力商品の輸出に注力したこととあわせ、為替が円安に転じたことから売上は前年に比べ増加しました。

この結果、この部門合計の売上高は9億21百万円（前年同期比8.4%減）となりました。

<樹脂薬品>

樹脂薬品の分野は、主要需要先である国内外のアクリル酸・アクリル酸エステル・ABS樹脂・MMA等の市況は回復基調であるものの、昨秋以降の国内アクリル酸生産の大幅減少の影響、ならびに、内外の競合先との国内競争が激化したことから、売上が減少しました。

この結果、この部門合計の売上高は1億68百万円（前年同期比20.4%減）となりました。

〈中間体〉

界面活性剤中間体ならびに染顔料中間体は顧客の生産が堅調に推移したことから売上を伸ばしました。農薬中間体は、一部品目の早期受注があり売上を伸ばしました。医薬中間体機能性化学品においては一部品目の販売増加があったものの、主品目で顧客の需要が伸びず受注に至らなかったことから売上が減少しました。

この結果、この部門合計の売上高は1億36百万円（前年同期比25.6%減）となりました。

〈その他〉

環境用薬剤は市場動向に合わせた生産対応を行った結果、売上は堅調に推移しました。潤滑油向け薬品は国内外市場の生産減の影響を受け、品目により売上に増減がありました。新規用途向け薬品は、品目により売上に増減ありましたが、新規受注も獲得した結果、売上を伸ばしました。

この結果、この部門合計の売上高は1億84百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産につきましては60億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億5百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が2億54百万円減少したことによりります。

負債につきましては45億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億82百万円減少いたしました。これは主に、未払金が2億25百万円、流動負債その他の未払費用が1億3百万円減少したことに対し、長期借入金が1億85百万円増加したことによりります。

純資産につきましては15億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が32百万円減少したことによりります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年11月期の連結業績予想につきましては、世界的な景気低迷による需要の鈍化、中国市場の不透明感から主要顧客の在庫調整の影響を受け、売上高が前回予想数値を下回る見込みであることから下記のとおり修正いたしました。

●平成25年11月期第2四半期連結累計期間業績予想数値の修正(平成24年12月1日～平成25年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,200	20	15	10	0.82
今回修正予想(B)	3,000	20	15	10	0.82
増減額(B-A)	△200	0	0	0	
増減率(%)	△6.3	0.0	0.0	0.0	
(ご参考)前年同四半期実績 (平成24年11月期第2四半期)	3,373	73	67	53	4.40

●平成25年11月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,700	120	100	60	4.92
今回修正予想(B)	6,400	120	100	60	4.92
増減額(B-A)	△300	0	0	0	
増減率(%)	△4.5	0.0	0.0	0.0	
(ご参考)前期実績 (平成24年11月期)	6,829	143	133	82	6.75

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	591,507	530,792
受取手形及び売掛金	2,127,080	1,872,785
商品及び製品	719,432	749,684
仕掛品	240,619	292,090
原材料及び貯蔵品	253,988	301,870
その他	24,631	47,607
貸倒引当金	△2,127	△1,869
流動資産合計	3,955,132	3,792,962
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	1,115,147	1,067,622
その他(純額)	909,857	896,652
有形固定資産合計	2,025,005	1,964,275
無形固定資産		
その他	8,246	9,370
無形固定資産合計	8,246	9,370
投資その他の資産		
その他	277,739	294,454
貸倒引当金	△1,513	△1,513
投資その他の資産合計	276,226	292,941
固定資産合計	2,309,478	2,266,587
資産合計	6,264,611	6,059,550
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,069,076	1,002,356
短期借入金	1,270,000	1,320,000
1年内返済予定の長期借入金	152,468	126,168
1年内償還予定の社債	600,000	600,000
未払金	387,281	161,319
未払法人税等	4,108	6,044
未払消費税等	—	12,814
賞与引当金	—	41,961
役員賞与引当金	9,000	—
その他	182,692	54,026
流動負債合計	3,674,627	3,324,690
固定負債		
長期借入金	308,696	493,804
退職給付引当金	504,563	500,227

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
役員退職慰労引当金	68,000	57,709
その他	167,310	164,648
固定負債合計	1,048,570	1,216,388
負債合計	4,723,197	4,541,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	58,437	58,437
利益剰余金	877,694	844,696
自己株式	△6,927	△6,981
株主資本合計	1,539,204	1,506,153
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	724	6,643
為替換算調整勘定	1,484	5,673
その他の包括利益累計額合計	2,209	12,317
純資産合計	1,541,414	1,518,470
負債純資産合計	6,264,611	6,059,550

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)
売上高	1,591,766	1,411,209
売上原価	1,342,051	1,202,429
売上総利益	249,715	208,780
販売費及び一般管理費	217,504	212,688
営業利益又は営業損失(△)	32,210	△3,908
営業外収益		
受取利息	22	33
受取配当金	308	359
不動産賃貸料	2,065	2,065
受取保険金	2,971	—
貸倒引当金戻入額	146	258
その他	1,605	862
営業外収益合計	7,119	3,578
営業外費用		
支払利息	5,459	5,262
社債利息	1,162	1,149
その他	2,275	2,425
営業外費用合計	8,897	8,836
経常利益又は経常損失(△)	30,432	△9,166
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
特別損失合計	—	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	30,432	△9,166
法人税、住民税及び事業税	310	4,500
法人税等調整額	21,333	△17,220
法人税等合計	21,643	△12,720
少数株主損益調整前四半期純利益	8,789	3,553
四半期純利益	8,789	3,553

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,789	3,553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,416	5,918
為替換算調整勘定	991	4,189
その他の包括利益合計	4,407	10,108
四半期包括利益	13,197	13,661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,197	13,661
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社グループにおいては、有機化学工業薬品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。